

一般社団法人カーボンリサイクルファンド
研究助成活動 よくあるご質問・回答

Q：一般公募枠とスタートアップ枠の違いは何ですか？

A：基本的な趣旨は同様で、応募様式の違いが主となります。一般公募枠は、書式等が決まっておりますが、スタートアップ枠は、質問事項への回答や自由形式の補足資料の添付など様式を簡略化しております。また、スタートアップ枠は、企業目線での審査を行っており、事業化を見据えた評価を重視する傾向にあります。

Q：一般公募枠の所属長印は、大学の場合、学長になりますか？

A：学長、学部長や学科長など所属している機関の長の役職の押印をお願いします。会社の場合は役職者の押印をお願いします。

Q：同一機関から複数応募することは可能ですか？

A：特に制限は設けておりませんので、複数応募可能です。但し、同一の研究代表者からの提案は1件としております。

Q：日本国外からの応募は可能でしょうか？

A：研究代表者は日本法人に所属する方に限定しています。研究代表者自体の国籍は問いません。国際共同研究を応募する場合は、日本法人に所属する方を研究代表者としてください。

Q：審査はどのようになされるのでしょうか？

A：提出頂いた書面をベースに審査を行います。一般公募枠は、学術機関の有識者と企業の有識者で審査を行い、スタートアップ枠は、企業目線での審査を行っており、事業化を見据えた評価を重視する傾向にあります。なお、審査過程についてのご質問は承れませんのでご了承下さい。

Q：任意提出の動画は提出すべきですか？

A：必須ではありませんが、書面で伝えきれない事（自己紹介・当該研究内容のポイントの説明や意気込みなど）を審査委員へ伝える手段として設けておりますので提出を推奨しています。実際、2023年度は採択した提案のうちおよそ8割が動画を提出されておりました。

Q：過去採択された研究者も応募可能ですか？

A：応募可能です。継続研究や別内容の研究提案などご活用下さい。過去得られた成果やその成果と比べた際の革新性・独創性などの記載をお願いします。

Q：採択率はどの程度でしょうか？

A：2023年度の実績は、一般公募枠56件の応募に対して15件採択、スタートアップ枠

31 件の応募に対して 2 件採択となります。(一般公募枠は、過去 4 年間で延べ 192 件の応募があり合計 53 件を採択。スタートアップ枠は過去 2 年間で延べ 60 件の応募があり合計 4 件を採択)

Q：紙書面を郵送で提出する必要はありますか？

A：2024 年度公募より、応募書類は電子ファイルのみの提出となりました。紙書面の提出は不要です。

Q：過去採択されたテーマを見ることはできますか？

A：下記の URL から過去の採択実績をご確認頂くことが可能です。

https://carbon-recycling-fund.jp/research_grant_activities/grant_achievements_list

Q：助成金はどのように支払われますか？

A：研究代表者の所属機関に、採択後の所定の手続きが完了次第、一括で振り込みを行います。共同研究機関への分納などは行っておりません。大学の場合、寄付金としてお受け取り頂くこともできます。

Q：助成を受けた場合、どのような義務が発生しますか？

A：当法人が定める報告書類の提出と、助成開始から 1 年後をめぐりに開催される成果報告会への出席を必須としています。詳細は募集要項および助成金交付規定をご確認下さい。

Q：購入した物品（固定資産）や知財の取扱はどのようになりますか？

A：助成金で購入された物品の管理は、所属機関の指示に従って下さい。当法人からの取扱指示は特にありません。また、研究成果は、研究者に帰属しますので、知財の取扱についても所属機関の指示に従って下さい。